

## 第3回観光機能強化に係る有識者会議

### 議事概要

日 時：令和8年1月6日（火）

場 所：中央合同庁舎2号館12階 国際会議室

有識者：清水委員（座長）、石井委員、岩本委員、柏木委員、堤委員、森戸委員

#### 1. 開会

- 観光庁より、配布資料確認
- 観光庁観光地域振興課長から挨拶
- 清水座長から挨拶

#### 2. 観光庁からの説明

- 観光庁より、資料1、資料2、参考資料1、参考資料2に基づき説明

#### 3. 意見交換

資料2「とりまとめ案ととりまとめ参考資料」について、各委員からの主な意見は以下のとおりである。

- 観光圏制度は、域内で二泊三日以上の滞在を促すものだが、最近ではDMOも同様の要素が求められるようになっている。DMOと観光圏が完全に分かれるのではなく、一部重なる部分があつても良いと考える。複数の市町村が連携することで、二泊三日以上の滞在を促進しやすくなるのが観光圏の特徴であるため、二泊三日以上の滞在割合が必須KPIとなつたことは、非常にインパクトがある。
- 二泊三日以上の滞在に関するKPIが設定するだけでなく、数値目標の管理や評価を行うためにPDCAサイクルを回していく必要があると感じる。これが観光圏制度の見直しにもつながる。
- 観光地域づくりマネージャーには様々な役割を担っていただいていると思うが、司令塔として、二泊三日以上の滞在を促すための具体的なものを打ち出し、リーダーシップと具体性を持って観光圏を推進していただきたい。
- ブランド化を進めるプロセスにおいてブランドコンセプトは重要な要素だが、最終的なゴールは「ブランド化」や「ブランドの確立」であるべき。したがって、ブランドコンセプトを確立すればそれで十分なのかという疑問があるため、とりまとめ参考資料には、ゴールはブランド化（ブランドの確立）であるという表現を加えていただきたい。
- ブランドコンセプトの定着・可視化に成功している地域の取組を提示することで、ブランドコンセプトの整理・見直し・定着のプロセスが他地域の取組の参考になると考える。
- ブランドコンセプトづくりは一度で完成するものではなく、試行錯誤を繰り返しながら見直していくことが重要。今後のフォローアップの中で、観光圏がこうした気づきを得る機会を積極的に持てるようにすべき。

- ・ 国の支援や制度設計は、まず枠組みを作り、地域側が主体的に活用することを求める傾向にあるが、現実には制度を十分に活用できないケースが多い。誰がどのような視点でチェックやフィードバックを行うのかは今後の課題だが、来期以降、検証を重ねてより良い体制にブラッシュアップできればと思う。
- ・ 一部の観光圏では、マネージャーと事務局の役割や動きが分断されてしまっており、外部から一時的にフォローしても、しばらくするとまた元の状態に戻ってしまう場合がある。そのため、事務局自体の機能強化が必要。
- ・ 観光圏制度は、マネージャー制度などを含め、支援体制が手厚い仕組みだと思うが、その手厚い支援が十分に行き届いていないのであれば、いつまで制度を続けるかも含めて、観光圏整備法の見直しにつながる枠組みが整うことを期待する。

参考資料 2「今後のバックアップ体制の強化について（案）」について、各委員からの主な意見は以下のとおりである。

- ・ 各運輸局の方々のバックアップがあることは非常に心強い。一方で、今後は広域連携 DMO の関与についてもより明確に示していく必要がある。それに加えて、各観光圏協議会内の県や市町村職員の意識改革も重要。さらに、協議会内部での連携体制をどのように高めていくかも検討が必要。
- ・ 広域連携 DMO の年間方針の中に観光圏を意識した記載を入れる際には、観光圏とも話し合う必要があるため、フォローアップ体制に広域連携 DMO を加えるべき。
- ・ 「定例会によるフォローアップ」にも自治体の担当者を呼ぶことで、年に何回かは観光圏について情報に触れる機会が作られると思う。
- ・ フォローアップ体制が充実することは非常に助かる一方で、地域側が観光庁からのフィードバックや先生方の支援を受けながら、自立的にどのように改善していくかが重要。
- ・ 二泊三日以上の滞在を達成するという目標に対し、その課題解決に合った方の力を借りる必要がある。有識者の関わり方として、誰がどういうところで支援するのか、協議会サイドでも考えていただきたい。
- ・ 最終的には、二泊三日のプランを来訪者に見せていくことが大事だが、それが定例会の第一回から第三回までの間で十分に記載されていない印象。
- ・ 定例会で議論する KPI の設定に関して、観光圏でも KPI を増やしすぎると、かえって機能不全に陥る恐れがあるため、問題の本質から逸れないよう、KPI をシンプルに設定するべき。

#### 4. 閉会